



## 教員の働き方 改革へまず一歩

### 日本語適応指導教室は、小・中学校で1校ずつ増設

13日に開かれた北区議会第3回定例会文教科子ども委員会で、教員の働き方改革と日本語適応指導教室の問題について、教育委員会から新しい方針が示されました。これに対し、のの山けん区議が質疑をおこないました。

教員の働き方の問題では、この9月に

学識経験者等を含めた新たな検討組織、「北区立学校における働き方改革検討会」を設置し、年度内をめぐりに、「北区立学校における働き方改革のための推進プラン」をまとめる方針です。

主な検討項目は、  
①教員人事、②勤務管理、③事務改善、④事務分担、⑤チーム学校（人的体制）、⑥部活動などで、検討に先立つ10～11月には、全教員を対象としたアンケート調査をおこない、勤務実態を把握するとし

ています。

また、出退勤管理の確実な実施に向け、小学校3校、中学校1校、幼稚園1園にタイムレコーダーを試行的に導入するための予算が、補正予算に盛り込まれました。

日本語適応指導教室は、日本語に慣れない外国籍の児童・生徒を対象にした通級学級ですが、来年の4月から、小学校ではこれまでの西が丘小、西ヶ原小に堀船小を加えた3校で実施、中学校では赤羽岩淵中に明桜中を加え2校で実施することになりました。

これにともない、日本語適応指導教室の教員も増員されることとなります。

### 議会での提案みのもる



区議会議員 のの山けん

今年3月の予算委員会では、教員の働き方改革を進めるために、実態調査とタイムカードの導入を提案。また、赤岩中の日本語教室を視察した際、外国籍の子どもが急増していると聞き、教員の増員を求めてきました。今議会で、やっと実現にこぎつけることができました。



### 北区子ども食堂 応援フェスティバル

15日、飛鳥山公園で開催。北区で20カ所以上に広がる子ども食堂がネットワークで結ばれ、一大イベントとなりました。(のの山けん)



### 北区民主商工会 夜のオリエンテーリング

第22回目を数える民商夜のオリエンテーリング。3300円で3軒のお店をはしご。飲んで、食べて、ほろ酔い気分。(のの山けん)



## 就学援助の 入学準備金 増額を

代表質問

宇都宮 章 議員

11日、代表質問に立った宇都宮章議員はまず、アジア情勢の激変にふさわしく、北区がヒバクシャ国際署名推進の先頭に立つよう花川区長に要請しましたが、区長は「他自治体の動向などに注視する」との答弁にとどまりました。

豪雨、地震、酷暑などから区民の命を守るための防災対策では、防災訓練や避難訓練などの機会をとらえ、水害時における避難行動・経路を区民に周知すること、ブロック塀改修助成の拡充、ひとり暮らし高齢者等へのエアコン設置助成などを求めました。

生活保護行政については、区長に生活保護費横領事件の再発防止、区民の信頼回復に全力をあげるよう求めるとともに、資格をもった専門性のある職員の配置や、生活に困った人がアクセスしやすいように区のホームページを改善するなど、生活保護行政の改善を提起しました。

さらに、就学援助の入学準備金増額、税金・保険料を滞納している方への生活再建支援策の拡充、プレミアム商品券の拡充など、共産党北区議員団がおこなってきた予算組み替え提案の実現を求め区の方への生活再建支援策の拡充、プレミアム商品券の拡充など、共産党北区議員団がおこなってきた予算組み替え提案の実現を求め区



## 学校跡地利 活用に住民 の声をかせ

個人質問

さがらとしこ 議員

さがらとしこ議員は12日、個人質問で、学校施設跡地利活用検討のあり方について質しました。

今年の4月から8月まで、5回にわたっておこなわれた旧赤羽台東小と旧滝野川第六小の跡地利活用検討委員会で、いずれも地元住民からの要望と区が必要と考える行政課題の調整に議論が集中しました。

さがら議員は、旧赤羽台東小の議論について、人口推計や北区総合教育会議方針などの情報提供のあり方に問題がなかったのかと質疑。3回目の検討委員会で、突然、児童相談所など複合施設の構想が出されたことについては慎重さを欠いた扱

いだつたと指摘しました。さらに、地元住民からは、昭和30年代に建てられた赤羽台西小学校を改築する際の代替地として学校跡地を活用する要望が出ているにもかかわらず、教育委員会が「具体的な改築計画はない」とのみ述べてこれを退けたことについて、「配慮を欠いた姿勢ではないか」と問い質しました。

最後に、検討委員会の最終報告から利活用計画の策定に至るまでの間、住民説明会やパブリックコメントだけでなく、あらためて住民の意見を聞く会を開催するなど、真に双方向型の住民参加による利活用計画づくりを進めるよう求めました。